

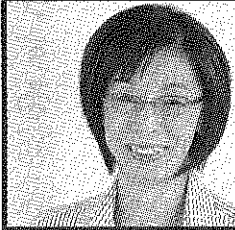
横浜市議会議員

まるおか  
丸岡いつこ

地域政党 神奈川ネットワーク運動

神奈川県議会議員

わかばやし  
若林ともこ



暮らしと政治をつなぐ  
広報紙 No.111

ネット・青葉レポート

http://aoba.kgnet.gr.jp/

〒227-0062 横浜市青葉区青葉台2-5-10フォーリアヴェルテ301 TEL:045-989-3050 FAX:045-989-3051



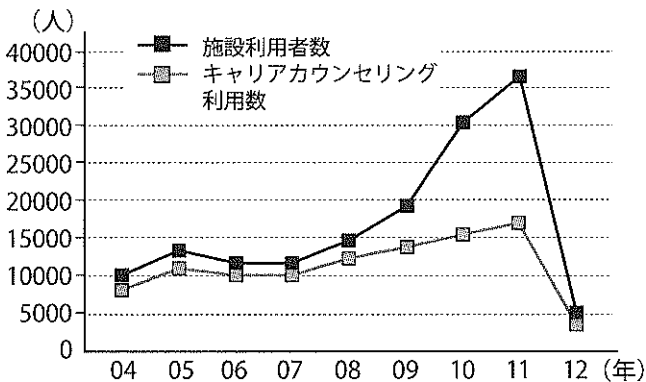
若者の就労支援  
課題と対策のミスマッチ

景気は穏やかに持ち直していると考えられますが、若者の厳しい雇用情勢は相変わらず続いています。神奈川ネットの若者就労支援プロジェクトでは、就労支援、定着支援を実施する現場を調査するとともに、県の就労支援事業について課題と制度がマッチしているのか、検証しています。

若林ともこ (プロジェクト座長/県議/ネット青葉)

かながわ若者就労支援センター 県データ

●利用状況 (2012年5月末現在)



●進路決定者の推移 (単位:人)

項目	2009 (年度)	2010 (年度)	2011 (年度)
キャリアカウンセリング利用数 (延べ)	13,595	15,394	16,877
施設利用新規登録者数	3,375	6,781	7,628
進路決定報告者数 (実人数)	1,034	1,620	2,229

利用者が急増  
かながわ若者就職支援センター



県が設置・運営する「かながわ若者就職支援センター」(横浜西口STビル内)は、キャリアカウンセリングなど若者の就職活動支援に取組む施設で、国の機関であるハローワークコーナーも併設されています。フリーターやニートの就業支援をすることを目的に開設された施設で、39歳までを対象としています。2010年以降利用者数が急増し、開設当初の利用者数の3倍強にもなり、本来想定していた支援対象者を超えた大学生の利用が広がっています。今春には、カウンセリングの予約が取れない状況が続きました。4月末に同じビル内に「新卒ハローワーク」も開設され、よう

内定率は数字のマジック  
一方、厚生労働省・文科省の統計では、大学卒業者の内定率が、2012年3月時点で93.6%となり、昨年10月の時点の59.9%から大きく伸びています。支援センターの実態とこの数には大きなギャップがあります。

やく利用数も落ちています。

す。厳しい雇用情勢を目的の当たりし、あえて留年を選択する学生や大学院に進学する学生、またフリーターを選択する学生などが増加し、就職希望者が減少、結果就職内定率が上昇するという状況が生まれています。国の統計データでは測れない、

ジョブコーチ制度の課題

より深刻な情勢が県施設で捉えられています。若者の就労支援機関が連携し、それぞれの機能を生かしながら支援を進めていくとともに、現場で捉えた課題を抽出し、地域から政策化を進めていくことが必要です。

就労困難とされている人のうち、障がい者について、神奈川県は独自に、職場定着等を支援する「障害者ジョブコーチ(企業内育成型ジョブコーチ及び派遣型ジョブコーチ)」を養成する講座を開催するとともに、派遣型障害者ジョブコーチを派遣する取組みを行なっています。しかし、昨年度60人の養成をめざしていた企業内育成型ジョブコーチは、36人に留まり、また、派遣型ジョブコーチも29人となつています。養成講座やジョブコーチのマッチング事業は、神奈川県障害者就労相談センターに委託されていますが、十分に周知されておらず、また、センターを通じたマッチング事業であることから、独自に障がい者を受入れ定着支援を行なっている小規模事業者にとっては制度を活用しきれないという課題があります。県独自の事業であり、今後制度の見直しも含め、障がい者にとっての働き場を広げる提案に取組みます。

「コミュニティキッチン ぼらん」  
(横浜市瀬谷区)

ぼらんは、ワーカーズ・コレクティブ協会が就労困難者とされている障がい者・若者を対象に設立した総菜作りの働き場です。公的制度によるジョブコーチの配置が難しい中、地域で活動するワーカーズ・コレクティブメンバーがボランティアに関わっています。ジョブコーチ制度の見直しや、若者の訓練雇用への公的サポートが求められています。